



学校だより

令和 2 年 4 月 7 日
横浜市立東戸塚小学校

自ら学び 人とかがわり 創り出す 東戸塚小学校をめざして

校長 南部 礼子

様々な花の色が景色に加わって、新しい春の訪れを告げています。新型コロナウイルスの感染状況に対応して教育活動の再開が延期されますが、入学、進級した子どもたちが抱いている、新たな出会いへの希望と期待を真摯に受け止めて、本年度の『東戸塚小学校』を始動します。

昨年度の卒業式に、卒業生に次のような「はなむけの言葉」を贈りました。

『自分を創る しなやかさと強さを』

これから皆さんは、「自分を創り、夢を実現する」ために、未来社会を切り拓いて一步一步粘り強く歩み続けていくこととなります。そのためには、予測困難な社会で生き抜いていく力が求められます。皆さんが、卒業式までに経験をしたように、いつ困難に直面してもおかしくありません。そのような時こそ、自ら考え、周りの人と協働して、歩む道を創ってほしいと思います。また、そのときの問題への正解 解決策は一つに定まるとは限りません。状況に応じて、複数の解を見いだし、その中から最善の解を判断して決断し、実行することになります。一人一人が自ら考え、仲間と多様な考えを出し合って、粘り強く練り上げていくこととなります。自分の考えにのみ固執しないしなやかさ、そして、創り出し、決めた道に一步踏み出す強さをもってほしいです。そうした、困難なことに向き合う中に、創り出す喜び、感動を味わう人であってほしいと願います。私自身もそうありたいです。

本年度、教職員一同、「主体的に考え、様々な人とかがわることを通して、創ることに本気になる」教育活動の実現に努めます。

○あたりまえのことを大切にします

人とかがわる土台として、気持ちのよい挨拶や話を聴くこと、時間を守ることなどを大切にすることを続けます。挨拶は、相手の存在を大切なものとして認め、コミュニケーションをとるためのものです。会釈や表情などで気持ちを表す心も育てます。

○創ることに本気になります

＜算数科を中心に、「主体的に学び、考えを広げる授業」に取り組みます＞

子どもが問いを見いだし、問題解決のために主体的に学び、互いの考えを伝える合う学習を通して、考えを広げるように授業研究を進めます。

＜学校生活をよりよくしようとする活動を進めます＞

子どもが活動を見い出して取り組む自主性と過程を大切にして、創ることに本気になる子どもを育てることに力を入れます。その一つとして、児童委員会活動、ペア学年などの異学年の活動の中で、学ぶ場を設けます。

＜自然、地域とのかかわりを進めます＞

地域の教育力を生かす教育活動のために連携を図ります。次年度創立 70 周年を迎えます。地域の皆様とともにミュージアム(資料室)のリニューアルの立案を始めます。

地域、保護者の皆様の日々のご協力の積み重ねは、本校にとって欠くことのできない豊かな力です。本年度もご支援ご協力をどうぞよろしく願いいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆ お知らせ・お願い ☆☆☆☆☆☆☆☆

児童支援専任は、全児童にかかわる仕事をします。児童には、「みんなの先生」として自己紹介しています。児童一人ひとりが安心して自分らしく楽しい学校生活を送れるよう、児童指導の推進役として連絡や調整を担当します。具体的には、児童や保護者との教育相談を行ったり、カウンセラーとの教育相談の連絡窓口になったりします。

更に、特別支援教育コーディネーターとして、学習支援をはじめ、様々な支援が必要な場合に、担任や保護者・関係機関と連携するためのコーディネートも行います。気になることや相談したいことがあればいつでも声をかけてください。よろしくお願いします。

児童支援専任